

コロナ禍の厳しい状況下でも着実に事業実施へ 専門工事業の地位向上めざす



組合の第26回通常総会は5月25日、大阪市中央区のホテルモントレ ラ・スール大阪で32名（うち委任状出席19名）が出席して開催し、コロナ禍で大幅に活動が制限される厳しい状況下でも専門工事業として一層信頼される業界づくりをめざし、技術・技能の向上と継承に務めていくことを再確認しました。

とくに、平成11年から実施している認定職業訓練配管科1級技能士コースの充実と併せ、登録配管基幹技能者の活用と認知度向上に注力していくことを申し合わせました。

総会の冒頭挨拶で庄司真之理事長は日頃の事業活動への協力に感謝の言葉を述べるとともに、「新型コロナウイルスの猛威に翻弄されて2年半が過ぎようとしている。組合の活動も制約を受け十分な活動ができていないが、コロナ禍で入学・卒業している子どもの姿を見ると気の毒



挨拶する庄司理事

でならない。ロシアのウクライナ侵攻により経済の先行きは不透明感が増しており、一日も早く世界に平和が訪れることを願っている。皆さんとともに正しい情報を共有し、この難局を乗り切っていきたい」と述べました。

さらに、庄司理事長は「例年、理事と青年部メンバーに協力してもらっている当組合主要事業の認定職業訓練配管科1級技能士コースに今年度も26名の方に参加いただき4月から取り

組んでいる。昨年度は長年の夢であった女性の1級配管技能士が21年ぶりに誕生するといううれしいニュースもあった。コロナに負けず、技能伝承と若手育成・教育を柱に事業運営に注力し、現場で汗する配管工が働くことに誇りを持てる業界になるよう社会的地位向上をめざしていきたい」と決意を示しました。

議事では令和3年度の事業・決算報告と労働保険事務組合の運営状況、特別会計報告を行うとともに、令和4年度の事業計画・収支予算案についてそれぞれ承認しました。今年度は「配管技能士」の社会的地位と認知度向上に向けた取り組みや青年部活動、情報発信を活発に行い、組織の強化を図っていくことを確認しました。

総会后、会場を移し賛助会員も交えて懇親会を催し、和やかに歓談しながら情報を交換しました。

◇令和4年度事業計画◇

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

【総務部事業計画】

1. 組合員企業の経営に役立つ事業の計画と実施
 - (1) 経営者及び次世代経営者のための講演会・研修会の実施
2. 組合並びに業界の社会的地位と認知度向上をはかる
 - (1) 日管連の企画・実施する事業に積極的に参加協力する
 - (2) 設備関連の団体との懇談会などを通じて関連業界との意思疎通をはかり、建設業界における当組合、ひいては日管連の地位の確立と向上をはかる
3. 組合の発展と財政的基盤の維持向上をはかる
 - (1) 組合員（正組合員・賛助会員）の拡充をはかるための研究をする
 - (2) 組合財政の収支バランスを見直し健全な運営をはかる
4. 組合員相互間の交流と相互理解を促進する
 - (1) 組合員相互の親睦をはかるため、新年賀詞交歓会、見学会など全組合員対象の行事を企画実施するとともに、組合員・賛助会員合同懇談会を随時開催し、情報交換をはかる
5. 青年経営者・後継者の拡充強化をはかるため、組合青年部会の活動事業を支援する
6. 組合ホームページのリニューアルに伴う活用と維持管理をはかる

【教育情報部事業計画】

1. 各種の資格取得支援の体制を維持・充実させ、技術研修会を開催し、高度な技能の伝承に努める
2. 認定職業訓練短期課程配管科1級技能士コースの実施並びに技能検定試験実技講習を実施する

3. 「配管技能士」の社会的地位と認知度の向上をはかるため長期的視野のもと研究に努める
4. 「登録配管基幹技能者」の中期目標3000名達成、長期目標6000名へ向けて「基幹技能者講習」の開催協力をはかる
5. 機関誌「Kan Kanくらぶ」の発行と内容充実をはかる
6. 人材育成と技能伝承についての方策を調査研究する

【事業部事業計画】

1. 労働保険事務組合認可に伴う事務処理体制の確立と、一人親方労災保険特別加入の充実をはかる
2. 配管関連商品の斡旋業務と組合取扱資材の増強をはかる
3. 「工事作業日報」の充実活用と「配管工事積算工費資料」の改訂版発行を計画する
4. 賛助会員並びに管工機材団体との懇談会の開催を企画し、管工事業界全体の向上をはかる

【青年部会活動計画】

1. 日管連全国青年部会並びに大阪府青年中央会との親睦・交流をはかる
2. 毎月1回の例会を開催し、情報交換をはかる
3. 工場見学会・勉強会・親睦会の実施
4. 親組合の記念行事・展示会などへの支援・協力
5. 青年部会への新規加入部会員の募集
6. 組合ホームページを活用し、組合事業活動並びに青年部会の活動をよりPRする
7. 令和4年度に関西地区で開催される予定の日管連全国青年部会に参加し、開催運営に支援協力する

休日返上で15日間・25教科履修

組合教育情報部会（部会長・玉川義光副理事長）は令和4年度認定職業訓練講座（配管科1級技能士コース、第24期）を実施し、19社・26人の受講者は猛暑の中で日々の仕事をこなしながら日曜日の休日返上で訓練講座に懸命に取り組みました。

認定訓練講座は4月から9月までの約半年間、尼崎市武庫豊町の兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター兵庫）で行われ、15日間の日曜日・延べ120時間（25教科）にわたって続けられました。受講者は1級配管技能士の資格取得をめざし熱心にカリキュラムに取り組みました。

この講座は大阪府の認定を受けた短期課程職業訓練です。修了するには全訓練時間の80%以上の出席と最終日の修了試験に合格しなければなりません。修了者には技能検定国家試験（建築配管作業）における学科試験免除の特典が与えられます。

新型コロナウイルス感染拡大の中、徹底した感染防止対策を講じて実施し



ました。実施日には組合役員が交代で訓練を補佐しながら見守りました。

流体の基礎理論・熱力学の基礎や材料各論、施工法、建築配管、製図、施工法の一部、関係法規、安全衛生など幅広い研修内容を13人の講師から学んで知識を身に付け、最終日に全教科の総まとめと修了試験が行われました。

受講者の皆さんは酷暑の中、休日返上で講座に取り組まれ、お疲れ様でした。また、受講者の周囲の方々には何かとご配慮をたまわりました。お礼申し上げますとともに、今後とも認定職業訓練講座の積極的な活用をお願いします。



【講師の先生】（50音順、敬称略）

- ◇阿部 真介◇小倉 一浩
- ◇鬼武 孝一◇金野 義弘
- ◇頃末 寛◇鈴木 香次

- ◇澄川 史朗◇瀧口 佳典
- ◇竹田 幹◇玉川 義光
- ◇直江 健◇宮本 祥子
- ◇森 良則

【受講者】（社名50音順、敬称略）

- ◇淡島設備＝津多 正運
外園 洋一
- ◇ウイング＝竹田 金蔵
辻林 和樹
- ◇浦設備工業所＝橋倉 将大
- ◇裏山設備＝裏山 将太
- ◇栄秀設備＝家脇 栄治
- ◇大倉設備工業＝安田 匠
- ◇九櫻設備工業＝奥田 幸宏
- ◇久世工業＝久世・リカルド・トシミツ
- ◇小阪設備工業＝西田 彬乙
- ◇三興TEC＝宮田 学
神藤 結城
- ◇三栄設備＝岩下 督
- ◇山蔭設備＝山蔭 稔
- ◇玉川設備環境＝ダム・フィ・ティエン、ヴァー・ズイ・ルアン、中西 大樹、角 紀男
- ◇ツカサ＝小谷 雅也
- ◇浜設備＝浜ノ井 裕也
- ◇増田工業＝木村 瞭太
管野 賀基
- ◇ムラヤマ設備商会＝斗石 寛
- ◇吉安設備＝吉安 真人
- ◇吉野設備＝吉野 廉哉



21年ぶりに関西で女性の1級配管技能士誕生

高野設備の高野恵さん



高野恵さん

関西で21年ぶりに女性の1級配管技能士が誕生しました。技能検定に見事合格されたのは八尾市の高野恵さん（高野設備）です。

令和3年度認定職業訓練修了生32名のうち、令和3年度後期技能検定1級配管（建築配管作業）を受検した中から高野恵さんが合格しました。組合では平成11年度より認定職業訓練を実施して現在まで629名の修了生を輩出してきましたが、平成12年度に女性1名が合格して以来21年ぶりの女性1級配管技能士の誕生（2人目）となりました。

業界関連専門紙（管機産業新聞）でも大きく取り上げられ、高野恵さんの談話が全国に発信され、配管業界での女性の活躍促進に貢献したものと思われます。

なお、令和3年度（後期）の近畿地区の技能検定（1級配管・建築配管作業）は今年1月下旬に大阪府内で実施（作業試験・学科試験と実技のペーパーテスト）され、当組合申請者33名が受検し22名が合格（合格率66.7%）しました。組合経由を除く一般受検者は30名で、合格者は18名（合格率60.0%）でした。



登録配管基幹技能者講習

近畿地区で12月5～7日に実施

配管工事の上級技能者育成を目的に実施される令和4年度の「登録配管基幹技能者講習」は前期講習が札幌（北海道地区）と大阪（近畿地区）、後期講習が小平（関東地区）と新潟（北陸地区）の各市で実施される予定で、近畿地区では12月5日から7日の3日間、エル・おおさか（大阪府立労働センター）で行われます。

登録配管基幹技能者の近畿地区講習では毎回、当組合の役員を中心に講師を派遣し、技能者育成に力を注いでいます。

なお、北海道地区は11月3～5日、関東地区は来年2月2～4日、北陸地区は同年2月20～22日にそれぞれ行われます。

登録配管基幹技能者制度は、日本配管工事業団体連合会（日管連）、日本空調衛生工事業協会（日空衛）、全国管工事業協同組合連合会（全管連）の3団体が国土交

通大臣から登録講習実施機関に認定されて実施しているものです。

登録基幹技能者（39職種）は、熟達した作業能力と豊富な知識を有するとともに、現場をまとめ、効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者で、いわゆる上級職長として元請の計画・管理業務に参画、補佐することが期待されています。

当業界の登録配管基幹技能者は4039名（今年3月現在）です。登録配管基幹技能者は「建設キャリアアップシステム」において配管技能者のレベルランクの最高位であるゴールドカード（レベル4）を取得するのに必要な保有資格として位置づけられています。

このほか、当業界関連の登録基幹技能者は、ダクト、保温保冷の各職種があり、講習はそれぞれ全国主要都市数カ所で行われています。

日管連定時総会開催

登録配管基幹技能者育成に注力

日本配管工事業団体連合会（日管連、会長増田幸康氏）は7月22日、広島市のリーガロイヤル広島で2022年度定時総会を開催し、約30名が出席して今年度の事業計画・予算などを決定しました。当組合からは庄司真之理事長（日管連副会長）が出席し、議案説明を行ったほか、小阪武司副理事長、池成信夫理事、中野広造理事、小倉一浩氏（事務局）が出席しました。

挨拶に立った増田会長は「事業活動の大きな柱に登録配管基幹技能者の育成がある。今後の課題は全国の現場で登録配管基幹技能者を活用してもらうことである。また、建設キャリアアップシステム（CCVS）については、レベルアップの評価判定の申請が日本機械土工協会のホームページから申請することに決まった。一方、配管技能者の目安の設定と施工能力の見える化ということを令和5年の春ごろに国土交通省に提出したいと考えている」と述べました。

さらに、増田会長は今年度の事



円内は挨拶する増田会長

業計画の一つでもある、全国ダクト工業団体連合会、日本保温保冷工業協会との3団体合同主催の「MACS2023（スマート空調衛生システム展）」について「令和5年4月12日から14日の日程で東京ビッグサイトでの開催が決定している。人手不足改善と若者の入職、育成をテーマに掲げ、設備関係の専門学校などに案内を配布し、大勢の来場者に来てもらいたい」と期待を寄せました。

議事では21年度事業・決算報告に続き、22年度の事業計画・収支予算案を決定しました。今年度は、登録配管基幹技能者の育成強



議案を説明する庄司副会長
（関西組合理事長）

化と合わせてダクト・保温保冷の各業界や日本空調衛生工業協会・全国管工事業協同組合連合会との情報・意見交換による課題対応などに注力していくこととしました。

このほか、日管連全国青年部会開催支援、BCP（事業継続計画）の展開、助け合いネット・日管連BCPstationの検討・展開、配管技能者の賃金目安（年収）設定にも取り組んでいくことを確認しました。

任期満了に伴う理事及び監事改選では、一部の理事が交代しただけで増田会長などが留任しました。議案審議終了後に、退任理事・監事に感謝状と記念品の贈呈が行われました。



関西組合からの出席者（前列および2列目左の4人）

理事会 議事要旨

【令和4年3月】

- ①第20回管工機材・設備総合展 OSAKA2021出展終了報告
- ②第12回組合員・賛助会員合同懇談会・忘年懇親会終了報告
- ③令和3年度技能検定1級配管受検対策実技講習終了報告
- ④令和3年度第1回近畿地区会場「登録配管基幹技能者講習」終了報告
- ⑤令和4年新年賀詞交歓会開催中止報告
- ⑥令和4年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申し込み応募状況報告
- ⑦組合定款一部変更の検討について(第3条・地区の拡大について)
- ⑧令和4年度第26回通常総会開催日程と開催場所・方法の検討
- ⑨令和4年度組合事業計画並びに予算編成の基本方針検討
- ⑩外国人労働者の雇用状況の調査について
- ⑪その他▽2級管工事施工管理技術検定受験対策のための勉強会実施について▽大阪管工機材商業協同組合での「コロナワクチン職域接種(3回目接種)」について

【令和4年4月】

- ①令和3年度後期技能検定・1級配管(建築配管作業)受検結果報告
- ②令和4年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申込者報告並びにカリキュラム・担当講師の決定報告と開講について
- ③外国人労働者の雇用状況アンケート回収報告
- ④令和4年度第26回通常総会と総

会終了後に開催する懇親会開催要領の検討

- ⑤令和5年新年賀詞交歓会の開催日程と新年会会場選定
- ⑥令和4年度技能検定1級配管受検対策実技講習の実施日程と講習会場について
- ⑦令和4年度組合年間行事計画予定日程表の作成
- ⑧令和4年度組合事業計画書(案)の策定
- ⑨令和4年度組合収支予算(案)の編成
- ⑩その他▽(株)竹中工務店と協力会社との意見交換会開催について

【令和4年5月】

- ①日管連理事会出席報告・当組合からは、日管連役員3名(庄司理事長、玉川・小阪両副理事長)が出席
- ②JAC(建設技能人材機構)への対応報告
- ③日管連全国青年部会・部会長会議出席報告
- ④新規組合員の組合加入申込み諾否について(高木管工(株)の組合加入を承認)
- ⑤令和3年度組合事業報告並びに決算報告承認について
- ⑥第26回通常総会上程議案並びに総会議事運営方法の検討
- ⑦その他▽6月定例理事会の休会について▽令和3年度認定職業訓練修了生から女性技能検定1級配管技能士誕生報告

【令和4年5月】

- ①通常総会の運営順序についての打ち合わせ
- ②懇親会の運営順序についての打ち合わせ

【令和4年7月】

- ①組合決算関係書類・税務関係書類の提出報告と登記事項及び納税完了報告
- ②大空衛主催の第12回配管技能コンテスト参加申込者の当組合から推薦報告
- ③JAC(建設技能人材機構)への加入事務手続きについて、JACとの打ち合せ事項の報告と今後の対応報告について
- ④令和4年度「登録配管基幹技能者講習」近畿地区会場でのOJT講習科目講師派遣について
- ⑤その他▽8月定例理事会の休会について▽新規賛助会員の組合加入申込み諾否について(株)オーエムアイ関西営業所の加入を承認)

新組合員/新賛助会員

【組合員】

高木管工(株)(たかきかんこう)

代表者 高木 健太郎氏

〒658-0022

神戸市東灘区深江南町3-1-35

Tel.078-855-3230

Fax078-855-3615

(令和4年5月1日加入)

【賛助会員】

(株)オーエムアイ 関西営業所

代表者 木村 信司氏

(関西営業所所長)

〒578-0911

東大阪市中新開1-4-14-B

Tel.072-975-5787

Fax.072-975-5788

(令和4年8月1日加入)

昨年の近畿地区工場立地 前年比14%増、工事増に期待

近畿経済産業局がまとめた昨年の近畿地区の工場立地件数は、146件で前年比14.1%の増加、工場立地面積は約165haで前年比17.7%の増加となった。

調査は、工場などを建設する目



的で1000平方メートル以上の用地を取得した製造業、電気業（太陽光発電設備を除く）、ガス業、熱供給業の事業者を対象に行ったものである。工場建設が進めば、建屋の建設、設備投資などで工事業界にも影響が及ぶ。

府県別では、立地件数は兵庫県が48件で全国6番目、奈良県が29件で全国9番目となり、立地面積は兵庫県が約51haで全国9番目、滋賀県が約44haで全国11番目となった。

後絶たない建設工事の裁判外紛争

建設工事にかかわる裁判外紛争

処理機関「建設工事紛争審査会」（中央審査会・都道府県審査会）が公表した昨年度の紛争取り扱い状況によると、中央、都道府県合わせた審査会の昨年度の申請件数は122件で前年度に比べ1件の増加にとどまったが、いぜん多い。

紛争審査会は、建設工事の請負契約に関する紛争を裁判によらず

に簡易・迅速・妥当に解決するために建設業法に基づいて国土交通省および各都道府県に設置されているもの。

昨年は、前年度の繰り越し分を合わせた取り扱い件数は224件で前年度(225件)から横ばいとなった。昨年度の中央・都道府県両審査会の申請件数は、あっせんが22件(前年度比2件増)、調停が72件(2件減)、仲裁が28件(1件増)であった。

21年度の紛争処理申請を類型別にみると、下請代金の争いが11件(全体の約3割)で最も多く、以下、工事瑕疵9件、工事代金の争い8件。前年度の申請件数と比較

していずれも横ばいとなった。

中小製造業の設備投資増加見通し

日本政策金融公庫（日本公庫）がまとめた中小製造業設備投資動向調査によると、今年度に計画する設備投資額（22年度当初計画＝22当初）は、前年度実績（21実績）比8.1%増となった。前年度当初計画（21当初）に比べると20.0%の増加であり、当初計画は控えめに立てられることから中小製造業の設備投資意欲はかなり高まっていることがうかがえる。

日商調べでも中小企業の 設備投資意欲盛り上がりへ

日本商工会議所が5月の早期景気観測（LOBO）調査に付帯して会員中小企業に行った「令和4年度設備投資動向調査」で、設備投資意欲が少し高まっていることが分かった。昨年5月の同調査で商議所会員の中小企業で3年度に設備投資を行う（予定を含む）と答えた企業は41.7%だったが、今回調査では43.1%と1.4%増加した。また、設備投資の規模でも「前年度より規模を拡大して実施予定」（26.6%）が前年度と比べて1.9%増加し、逆に「見送る」（32.1%）は1.2%減少した。

ダイダン 長時間労働是正プロジェクト始動

ダイダンは、長時間労働是正の

ための全社プロジェクト「SMILE 2024 Project」を始動した。令和6年4月からの建設業における「時間外労働の上限規制の適用」に向け、建設業界で問題となっている長時間労働の是正をめざす。

同社は、これまでも業務の効率化や長時間労働対策について社内各所で取り組んできたが、それらのアイデアが事業所単位や部署単位、あるいは個人のノウハウに埋もれていたという。このことから、長時間労働の是正で大切なことは全社として継続的に生産性を高めるノウハウを構築することと捉えてプロジェクトを実施していく方針。

国土交通省営繕工事の9割が週休2日

国土交通省は、昨年度に完成した営繕工事について9割強で週休2日を達成したと発表した。

営繕工事では政府の「働き方改革実行計画」に示された方針などに基づき、17年度から現場閉所を含む週休2日の確保に取り組むとともに、工事のモニタリングを実施して、その阻害要因の把握と改善方策の検討を進めている。平成30年度からは新たに労務費補正などの試行を行う「週休2日促進工事」を導入して取り組みの拡大を図りながら継続してモニタリングを実施してきた。

今回、週休2日の達成要因などに関するアンケート調査の結果、21年度（今年3月末まで）に完成した対象工事175件のうち、159件

（90.9%）で週休2日を達成したことが明らかになった。週休2日を達成できた割合は令和元年度（67.4%）、2年度（78.9%）と年を追って伸びており、3年度は前年度と比べ12ポイント増加した。

近畿地区の超高層マンション建設・計画合わせ増加傾向

近畿地区で今年以降に建設・計画されている超高層マンション（20階建て以上）は52棟・1万5030戸（今年3月末時点）あることが不動産経済研究所の調べでわかった。昨年同時期の調査（昨年3月末時点）から15棟・3826戸増加している。



超高層マンション建設が加速しているのは全国的な傾向で、全国で今年以降に完成を予定している超高層マンションは307棟、11万2142戸で、1年前の前回調査（昨年3月末時点）に比べ74棟・1万7241戸増加している。

近畿圏で今年以降に完成が予定されている超高層マンションは52棟・1万5030戸で、全国戸数シェアは約13%。うち大阪市内は33棟・8905戸（同シェア約8%）となっている。

その他主要地区で今年以降に完成する超高層マンションは福岡県14棟・2668戸、北海道9棟・2157戸、愛知県10棟・2029戸、宮城県7棟・1417戸、岐阜県4棟・1090戸、岡山県3棟・724戸など。

同社によると、1990年代後半以降に超高層マンションの建設・計画が増加したのは、中古となっても値崩れが起き難く、換金性に優れているとして人気を呼び、その高い人気ぶりが首都圏、近畿圏など大都市圏から地方中核都市にまで波及していったことが要因という。しかし、平成19年以降の価格高騰によるマンション販売の低迷、20年のリーマンショックによるマンション供給計画の規模縮小が相次ぎ、22年には1万戸台（1万7967戸）に、11年は東日本大震災の影響もあって万3321戸と一段と落ち込んだ。

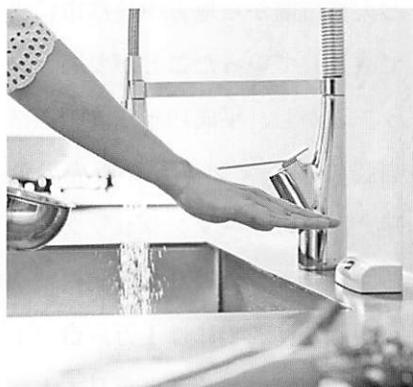
減少基調に変化が訪れたのは24年で、1万6060戸に増加し、25・26・27年と続伸し27年に1万8821戸に達した。しかし再び30年には1万戸割れ寸前にまで落ち込み、平成元年に4年ぶりに増加したものの、2年は再び落ち込んでいたが、3年は17%増の1万3966戸まで盛り返した。

同社では、今後、東京都心部や

湾岸エリアだけでなく、地方都市でも超高層大規模開発や複合再開発プロジェクトなどが数多く控えており、来年には1万9790戸と2万戸に迫る勢いで増加するとみている。ただ、新型コロナウイルス感染拡大やロシア・ウクライナ情勢の影響などで建設資材の高騰・品不足から工期が延び、完成が当初の計画から遅れる物件も出てくることが考えられとし、年次別の完成棟数や完成戸数は変動する可能性が出てきているという。

住設機器市場堅調な伸び見込む 水洗金具は25年度で12%増

総合マーケティングビジネスの富士経済は、今後堅調な需要が期



待される住宅設備・建材の国内市場を調査し、それによると、同市場は令和3年度で4兆5731億円、2年度比2.4%増を見込み、7年度には4兆7508億円で2年度比6.4%増に成長すると見通している。調査は、水まわり設備5品目、同関連機器6品目、空調3品目、エコ設備3品目の住宅設備17品目と建材（内装材木質・非木質計8品目、断熱4品目など26品目）の計43品目を対象に行った。

それによると、3年度の「住宅設備市場」は2兆6417億円で2年度比0.4%の伸びにとどまった。新設住宅着工戸数の増加とリフォーム需要が堅調だったことから多くの品目で伸長するも空調分野はルームエアコンが前年度に需要が大きく増加した反動により減少したため、拡大は小幅にとどまった。

このうち、水栓金具市場（システムキッチンや洗面化粧台およびシステムバスなどの設備機器に付帯する水栓金具）は、感染症対策としての手洗い意識の向上により、タッチレスタイプの製品が伸びていることから21年度は前年度比4%増の648億円が見込まれるとしている。

住宅リフォーム市場は縮小見通し

矢野経済研究所が行った住宅リフォーム市場調査で、今年（1～12月）の住宅リフォーム市場規模は前年比5.5%の減少見通しとなっている。3年は前年比5.7%増になったとみられるが、4年のリフォーム市場規模は6.5兆円で前年比5.5%減を見通し、5年は6.6兆円でほぼ横ばい（同0.7%増）を予測している。



今年は観光需要喚起策などにより外向きの消費（旅行、外食など）が増加することで、リフォーム需要が減少することが考えられるとしている。また、食品や日用品をはじめとする消費財の物価高騰による家計支出全体の縮小、それに伴い不要不急の支出減少、さらに建築資材高騰によるリフォーム工事費の上昇などがマイナスに働くことで、市場縮小は避けられないとみている。

来年は、団塊ジュニア世代がリフォーム適齢期に突入しているなどリフォームのトレンドは高まる傾向となるが、世帯数がピークアウトし始めることから成長が鈍化していくものと予測している。

中小・中堅企業収益悪化 主要因は価格高騰と原材料不足

商工組合中央金庫が5月景況調査に付帯して行った「トピック調査」で中小・中堅企業の7～8割が収益の悪化要因として「川上価格の高騰」や「原材料・商品不足」を指摘していることが分かった。その一方で賃金上昇や人手不足、円安進行は比較的軽微な悪影響にとどまっている。

また、全体の約7割が多少なりとも価格転嫁を実施済みとしているが、コストアップ分の大半（7割以上）を転嫁できるところは1年先までを展望しても3割以下と、厳しい経営環境に置かれている。

配管コンテストで組合員 ツカサの江口さん優勝

8月20日に東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で開催された大阪空気調和衛生工業協会主催の第12回配管技能コンテストに当組合は選手を派遣したほか、試験機器の提供・設置などで運営に協力しました。

コンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、同協会が実施しているものです。

今回は現場の第一線で活躍する技能者17名（一般の部）と建築設備関連の学科を履修中の職業技術専門校や高等学校など5校から学生・生徒17名（学生の部）が参加しました。一般の部では1級配管技能士検定レベル、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦しました。

作品は寸法測定、出来栄え、水圧試験による漏れ検査、作業態度などで審査が行われ、学生の部では東住吉総合高等学校の女生徒・龍野美玖さんが優勝し、大阪府知事表彰に輝き、一般の部では当組合員・ツカサ



表彰される学生の部優勝の龍野さん



表彰されるツカサの江口さん

（大阪市都島区）の江口昌弥さんが見事優勝し、大阪府職業能力開発協会会長賞を受賞しました。また、同社の前田大輝さんも5位に入賞しました。

各部門の上位入賞者は次の通りです。（カッコ内は学校名・社名、敬称略）

【学生の部】

▽優勝＝龍野美玖（東住吉総合高等学校）
▽2位＝中田結斗（布施工科高等学校）
▽3位＝有村瑠記（同上）
▽4位＝吉田陸人（彦根工業高等学校）
▽5位＝田淵大揮（大阪工業技術専門学校）

【一般の部】

▽優勝＝江口昌弥（ツカサ）
▽2位＝加藤洋（大谷設備）
▽3位＝松尾浩二（KOSEI）
▽4位＝杉浦巧馬（藤井設備）
▽5位＝前田大輝（ツカサ）



学生の部の競技



一般の部の競技



学生の部上位入賞者（前列）



一般の部上位入賞者（前列）

見事優勝したツカサの江口さん（中央）と5位入賞・同社の前田さん（右端）

今後の主要行事予定

組合の主要行事を次のとおり予定しています。時間・会場など詳細は実施日が近づきましたら改めてご案内いたします。ご参加たまりますようお願い申し上げます。なお、新型コロナウイルス感染状

況により、行事が延期や中止になる場合もございます。

○日管連・全国青年部会の開催

(関西青年部会担当で開催)
10月21日(金)

○レッキス工業での技術講習会

11月26日(土)

○登録配管基幹技能講習

(前期講習=近畿地区)

12月5日(月)～7日(水)

(エルおおさか)

○技能士受検対策実技講習

12月10日(土)～11日(日) (南大阪高等職業技術専門学校)

○新年賀詞交歓会

令和5年1月26日(木)

事業主の皆さん、 労働保険に入っていますか？

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したも

ので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

お問い合わせ先

◇労災保険制度については

労働基準監督署へ

◇雇用保険制度については

ハローワーク(公共職業安定所)へ

【労働保険事務委託団体・労働保険事務組合】

関西配管工事業協同組合

【労災保険・特別加入団体】

関西配管工事業協同組合・一人親方組合

安心



活気



やる気



働くみんなに 退職金効果!

中退共は、国がサポートする中小企業のための退職金制度です。

安心

国の退職金制度

掛金の一部を
国が助成します。

有利

掛金は全額非課税

手数料もかかりません。

簡単

外部積立型だから

管理もラクラク

転職先でも引き継げる
「通算制度」があります。

●パートタイマーさんや家族従業員もご加入いただけます。 ●他の退職金・企業年金制度等との資産移換も可能です。

詳しくはホームページをご覧ください

中退共

検索



独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1
TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211